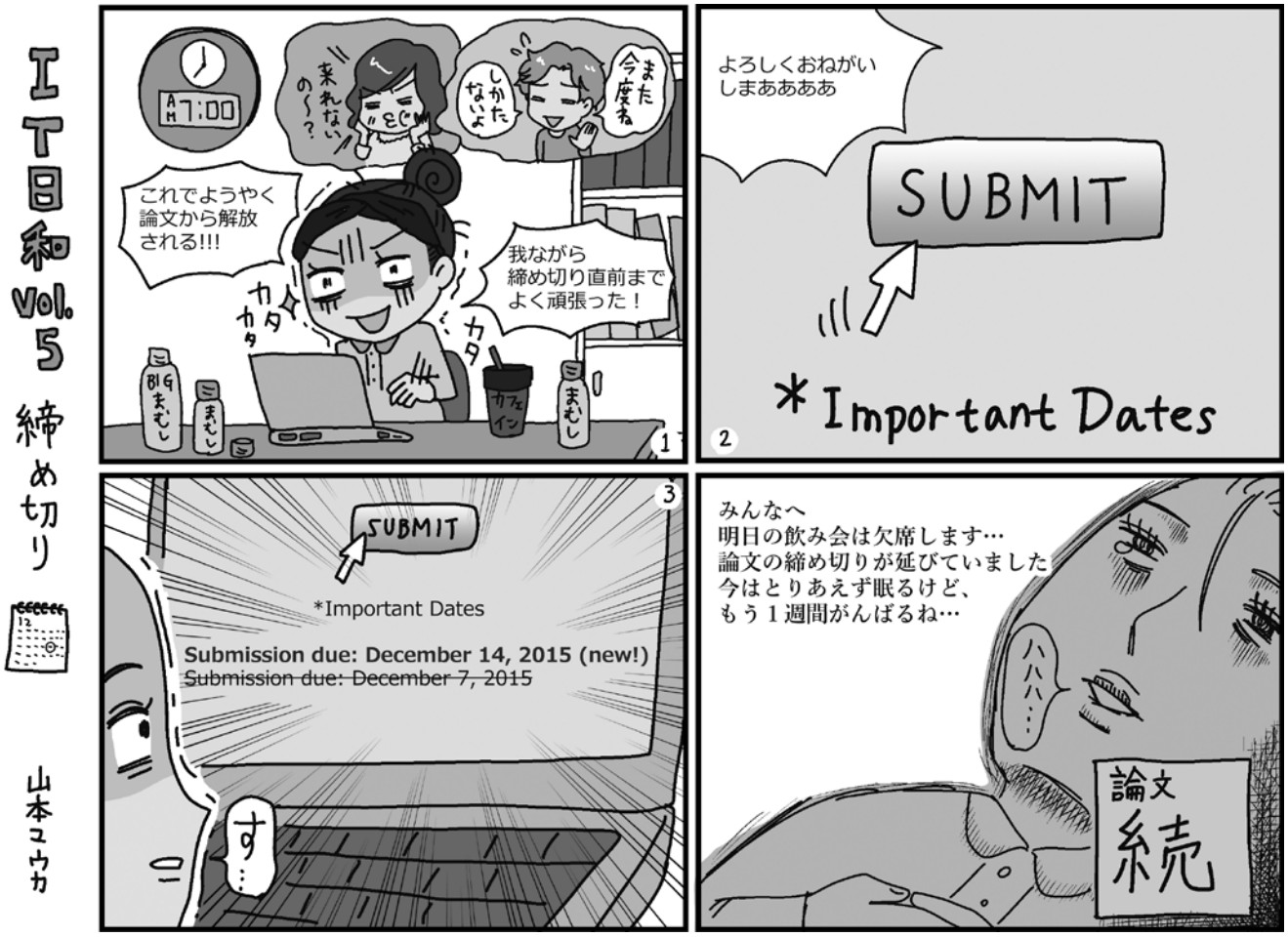


連載漫画ネタ募集のお知らせ

編集委員会では連載漫画用のネタを募集しております．
日常で感じた漫画化してほしい「IT あるある」ネタを以下の投稿フォームからお気軽に投稿してください．
単純なネタ，ストーリーのどちらでも結構です．またフォームの中でコマ割の希望を文章で書いていただいてもかまいません．

例：（説明：2 のべき乗が好き）
1 コマ目：受付番号 256 番，2 コマ目：お会計 1,024 円，
3 コマ目：宝くじ 4294967296（2 の 32 乗），4 コマ目：上司から「会社辞めないで〜」（オチ）

連載漫画ネタ募集のお知らせ（IT あるあるネタ投稿用フォーム）
https://www.ipsj.or.jp/magazine/itaruaru.html

ラフ案の画像（簡単なものでかまいません）をお送りいただくこともできます．
画像の場合はお手数ですが，ネタの説明とともに情報処理学会 会誌編集部門（editj@ipsj.or.jp）までメールでお送りください．

みなさまからの楽しいネタの投稿をお待ちしております．

※ お送りいただいたネタは原案とし，作品の著作権は情報処理学会に帰属するものとします．
※ 採用された方には記念品を贈呈いたします（複数の方から同じネタの投稿があった場合は抽選とさせていただきます）．

2016 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集のお知らせ

会誌編集委員会
デジタルプラクティス編集委員会

会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」をより良くするために編集委員一同努力を続けておりますが，会員の方々の評価や希望をうかがい，今後の改善に役立てるために，モニタ制度を設けております．

関心のある方はぜひふるってご応募ください．

応募の資格　本会員で，モニタの役割を積極的に果たしていただける方．

モニタの役割　「情報処理」巻末の所定用紙または学会 Web ページ（http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html）から，毎月アンケートに回答する．

- 記事に対する評価
- 記事に対する感想・意見
- 記事テーマの提案
- そのほか全般的な意見・提案など

注）記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません．自分の立場や問題意識，得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します．

期　間　原則として 1 年間（2016 年 4 月～ 2017 年 3 月）．**＊最長 3 年までとします．**

対 象 号　会誌「情報処理」57 巻 5 号～ 58 巻 4 号，および年に 4 回 Web ページ（https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/）にて公開される「デジタルプラクティス」

謝　礼　貴重なご意見をいただいた方には薄謝または記念品を贈呈します．

募集人員　特に定めませんが，応募者数によっては当委員会で調整させていただくことがあります．

応募締切　2016 年 2 月 29 日（月）必着　＊申込書を Fax するか，または E-mail でお申し込みください．

申込／照会先　情報処理学会　会誌編集部門（モニタ係）

2016 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ申込書

宛先：情報処理学会　会誌編集部門（モニタ係）
E-mail: editj@ipsj.or.jp　Fax(03)3518-8375

氏　名

会員番号　（　　）

住　所　〒

所　属

E-mail:
Tel（　　）　　-
Fax（　　）　　-
年　齢　（　　歳）

業種：(a) 企業（サービス業）(b) 企業（製造業）(c) 研究機関 (d) 教育機関（大学･高専など）(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員）(g) その他

職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務 (f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）(h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員）(j) その他

ご寄付のお願い

情報処理学会は、情報処理に関する学術および技術の振興をはかることにより、
学術、文化ならびに産業の発展に寄与することを目的に各種事業を戦略的に展開しております。
今回、学会活動の更なる活性化を図る上で会員の皆様からご寄付を頂戴いたしたく、お願いを申し上げる次第です。

皆様から頂きますご寄付は

情報技術を通じて、人類及び世界の発展に資するため
情報技術を中心に学術および技術の振興に資するため
将来を担う人材の育成に資するため

などの観点に照らし、下記の項目に活用させて頂く所存です。

今回ご寄付をお願いしたいのは現金に加えて、情報技術に関わる有形無形の資産（著作物、電子的コンテンツ、特許、ソフトウェア等）、ボランティアで提供いただける役務提供（経験や知識に基づく役務）なども含みます。
お預かりいたしましたご寄付のうち使途のご指定のあるものは、そのご意向に沿った活用をさせて頂き、
ご指定のないものは、その使途を学会活動の活性化に有効な諸事業で活用させて頂きます。
今後も会員の皆様の絶大なるご支援・ご協力を頂きながら、学会発展のために努力して参る所存でありますので、
何卒よろしくお願い申し上げます。

＊ご注意 情報処理学会は寄付金に対する税金が優遇される特定公益増進法人ではございません。

IPSJ　寄付

会員他寄付

現金
資産
役務

IPSJ

学会活動に活用
↑
役務提供

活用先

教育・育成
情報入試　子ども教室　パソコン教室
社会貢献
表彰
国際活動
規格標準化
情報資産保存
学会諸事業
その他

詳しくはこちら

http://www.ipsj.or.jp/annai/other/donation.html

お問合せ

一般社団法人　情報処理学会　管理部門
〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台1-5　化学会館4F
TEL 03-3518-8374　FAX 03-3518-8375
soumu@ipsj.or.jp

会員の広場
Member's Voice

今月の会員の広場では，10 月号へのご意見・ご感想を紹介いたします．まず，特集「ビッグデータがもたらす超情報社会」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■具体的でなく，何回読んでも理解できない，隔靴掻痒（かっかそうよう）でした．（匿名希望）

■ビッグデータ関連について知りたいと思っていたことが広くカバーされていて，非常に読みでがあり良かった．（匿名希望）

■平易によくまとめられていてとても役立ちました．大学の先生による先端研究紹介だけでなく，企業の方による適用事例紹介があるとなお良いと思いました．（匿名希望）

■応用が少なかったので，改めて特集してほしい．（匿名希望）

■ビッグデータの負の面についての考察が欲しいと思いました．（匿名希望）

■ビッグデータについては言葉だけが先行しているのが実態でしたが，さまざまな視点で取り上げていただく非常にタイムリーな特集でした．（阿部一晴）

「2．ビッグデータ関連プログラム」
■欧米の研究開発動向を知ることができる良い記事であると感じた．一方で，こうしたデータおよびその比較が表形式でまとめてあれば，日本との比較もあれば，と思った．（匿名希望）

「3．ビッグデータ処理基盤」
■ビッグデータ処理基盤開発の課題について整理されていてよく理解できました．同時に基盤となるための困難さも想像できました．課題が複雑なので，情報処理分野のあらゆる技術で革新が必要なのかもしれないと感じました．（匿名希望）

「6．ソーシャルビッグデータ利活用のための自然言語処理」
■ p.989「このような人々の瞬間的な情動は，…興味深い．」について，Twitter に投稿している方が真にどのような気持ちで投稿したのか私には分かりかねますが，それでも『興味深い』という表現はいささか軽々しい感じがします．（齋藤康之）

「7．つながる実世界データの利活用」
■ビッグデータにおける，各種センサや双方向の可能性など分かりやすく記載されており良かった．課題解決指向の部分について具体的な取り組みなどさらに踏み込んだ部分を期待します．（生駒勝幸）

解説「オンラインジャッジの開発と運用」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■大変興味深かったです．プログラミングの実習を担当する立場なので，できるだけ多くのプログラム作成をさせたいのですが，採点の負担も大きいので，このようなシステムを容易に作れるようになると，講義でも活用でき，効果も大きいと思いました．（匿名希望）

シニアコラム「IT 好き放題：裁判から見えるソフト開発の現場」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■ソフトウェア開発の特徴や，発注・受注者間の協力という，自分にとって当たり前になっていたことを再認識できたので良かった．（伊藤　誠）

教育コーナー「ぺた語義：プログラミングを学んでから大人になると？　を知りたい」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■つい最近「『学力』の経済学」を読んだので，プログラム教育が一般の人からも重要視されるには，ぺた語義で言っているような話を，明解な根拠をもって積みあげていくことが必要だと思いました．ただ，個人情報やプライバシーの問題でデータも集まりにくく，社会状況や技術も常に変わっていくので，長期的な観察データを積みあげて意味のある解釈を引き出すのも容易ではないだろうと感じました．（匿名希望）

■常々自分が思っていたことだった．長い期間，広い範囲の継続的な追跡調査をこそ，国が主導してやってほしい．（匿名希望）

教育コーナー「ぺた語義：メタサイエンスとしての情報学とその教育」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■情報学の意味，意義が簡潔に整理されており分かりやすかったです．情報学の重要性を再認識しました．（加藤雅彦）

連載「女子部が行く！ ―学会探訪記―：第 3 回　定時総会」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■この連載は学会運営の紹介に思える．「女子部が行く」というタイトルに違和感を覚える．（匿名希望）

■学会の総会に出てその内容を報告するのが女子部で取り上げる内容なのか分からない．（匿名希望）

連載「ビブリオ・トーク：生体用センサと計測装置（ME 教科書シリーズ）」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■毎号必ずチェックするコーナーです．紹介いただいた書籍は 7 割の確率で手にとって楽しませていただいています．当時読

み逃した専門関連書籍を読み返して，これまでの変遷や変わらない本質を再確認したり，非専門分野を分かりやすく解説した書籍に出会えたり．優良な書籍で知的好奇心を満足させていただいています．今後も期待しています．（京谷美代子）

連載「会誌編集委員会女子部」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■男女共同参画に対する女性目線の意見は非常に参考になる．（伊藤　誠）

■女子部の違和感は同感でした．と言いつつ，プログラミングやデバッグ，テスティングなどは，やってみると意外に女性向きと感じます．やはり，どこかに性差があるのでしょうね．（高橋尚子）

連載漫画「IT 日和」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■ Hanoi Flag Tower は 3 段構造で，ハノイの塔に結構似ています．（匿名希望）

■ Prolog でハノイの塔を解くプログラムを書いてから 10 年ほど経ちましたが，正直実在しないとは知らなかったので驚きました．IT 日和に今後も期待しています．（匿名希望）

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して，以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました．今後の参考にいたします．

■人工知能について，言葉としては使い古された感がありますが，Siri など世の中への浸透レベルが加速しているので，取り組み状況，実用化レベルと課題，オープンソースの状況などについて特集してほしい．（生駒勝幸）

■昨今専門家であっても，単一の分野だけでなく複数分野を経験し精通した人材でなければ戦えない傾向が強いと考えます．巻頭コラムで，珍しいキャリアを積まれた方の経験談など，視野を広げる記事が増えると良いのではと感じます．（匿名希望）

■今後取り上げてほしいテーマ：ソフトウェア検証，深層学習．（山根　智）

■ Bioinformatics, Web フレームワークに興味がある．（匿名希望 / ジュニア会員）

■会誌に掲載される記事の著者は IT 産業のトップを行く人だと思います．でも実際に設計しコーディングする人間はオフショアの人々です．会誌でオフショア発注の実態を取り上げてほしいです．（匿名希望）

■会誌の紙質に関する希望です．もう少し光沢を抑えてもらえると読みやすいと感じます．（匿名希望）

■情報システムの信頼性を確保する技術について取り上げていただきたいです．（匿名希望）

■参加報告のレポートは，参加できなかったものの確認や今後の参加検討材料として大変参考になります．（匿名希望）

■ Twitter や LINE を活用してほしい．（匿名希望 / ジュニア会員）

■今号に限らず，特集記事がタイムリーさや有用性で中途半端な気がする．サブトピックが多くて，個々が短すぎるのかもしれません．詳細は各自で研究せよとの趣旨なら，参考文献は必ず載せてください．（匿名希望）

【本欄担当　青木秀貴，東本崇仁／会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html > にも掲載しています．Web 版では，紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので，ぜひ，こちらもご参照ください．
会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております．今後もよりよい会誌を作るため，ぜひ皆様のお声をお寄せください．

皆様にとって会誌をより役立つものとするため，
・記事に対する感想，意見　・記事テーマの提案　・会誌または学会に対する全般的な意見，提言
・その他，情報処理技術についての全般的な意見，提言
など自由なご意見，ご感想をお待ちしております．
なお，「道しるべ」については
<URL：http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html> で
これからのテーマ案を募集しており，いただいたご意見をまとめております．
※ ご意見，ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします．

掲載に際しては，編集の都合上，ご意見に手を加えさせていただくことがありますので，あらかじめご了承ください．　なお，意見の投稿に伴う，住所，氏名，所属などの個人情報については，学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします．
<URL：http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>

応募先　〒 101-0062　東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F
一般社団法人　情報処理学会　会誌編集部門
E-mail : editj@ipsj.or.jp　Fax (03) 3518-8375
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html

ご意見をお寄せください！

開催日	名　称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
12月15日（火）～ 12月16日（水）	第106回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps106.html	10月20日（火）	当日のみ	電気通信大学
12月15日（火）～ 12月16日（水）	第190回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se190.html	10月27日（火）	当日のみ	JR博多シティ会議室
12月16日（水）	Exciting Coding!2015 ～ITスペシャリストが語る　イノベーションの面白さ～		定員になり次第	日本マイクロソフト(株) 品川オフィス31F
12月16日（水）～ 12月17日（木）	第152回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc152.html	10月9日（金）	当日のみ	北海道立 道民活動センター
12月18日（金）	連続セミナー2015　第6回「人間中心インタフェース」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2015/		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
12月19日（土）～ 12月20日（日）	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2015」 http://jinmoncom.jp/sympo2015/	9月17日（木）	当日可	同志社大学京田辺校地
12月22日（火）	第181回知能システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics181.html	11月16日（月）	当日のみ	都内
12月26日（土）	第5回災害コミュニケーションシンポジウム http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/spts2015.html			東京電機大学 千住キャンパス
12月26日（土）～ 12月27日（日）	2015年度教員免許更新講習（冬） http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU2015.html		12月7日（日） 定員になり次第	京都大学
2016年				
	論文誌「エンタテインメントコンピューティング」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-T.html	1月6日（水）		
	2015年度長尾真記念特別賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/topics/nagao_boshu2015.html	1月8日（金）		
	デジタルプラクティス「人工知能の実践的活用」特集への論文投稿のご案内 http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0704s.html	2月5日（金）		
	論文誌「ゲームプログラミング」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-W.html	2月19日（金）		
	論文誌「ヒトとモノを中心としたセキュアで信頼できる社会に向けて」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-Z.html	2月29日（月）		
	論文誌「社会を繋げるパーベイシブシステムと高度交通システム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-C.html	3月31日（木）		
	論文誌「ダイバーシティ社会に向けたコラボレーション支援とネットワークサービス」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-D.html	4月1日（金）		
1月8日（金）～ 1月10日（日）	第57回プログラミング・シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/prosym/			ラフォーレ倶楽部 伊東温泉湯の庭
1月13日（水）～ 1月14日（木）	第107回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro107.html	11月13日（金）	当日のみ	A.R.Kビル
1月15日（金）	高度交通システム（ITS）2016シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its2016.html			日本化学未来館
1月18日（月）～ 1月20日（水）	AnnualMeetingonAdvancedComputingSystemandInfrastructure（ACSI2016） http://acsi.hpcc.jp/2016/			九州大学医学部 百年講堂
1月19日（火）～ 1月21日（木）	第210回システム・アーキテクチャ・ 第174回システムとLSIの設計技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc210sldm174.html	11月2日（月）	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月21日（木）～ 1月22日（金）	第200回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim200.html	11月3日（火）	当日のみ	大阪大学
1月21日（木）～ 1月22日（金）	第156回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al156.html	11月20日（金）	当日のみ	作並温泉 湯の原ホテル
1月21日（木）～ 1月22日（金）	第166回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci166.html	11月27日（金）	当日のみ	関西学院大学 梅田キャンパス
1月22日（金）～ 1月23日（土）	第225回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl225.html	12月7日（月）	当日のみ	株式会社ミクシィ （渋谷）
1月27日（水）	東海支部主催講演会「情報工学が切り開く医療分野」 http://www.ipsj-tokai.jp/			名古屋工業大学
1月30日（土）	第109回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch109.html	12月7日（月）	当日のみ	国立情報学研究所
2月4日（木）	ソフトウエアジャパン2016 http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2016/		1月21日（木）	一橋大学 一橋講堂会議室 ／学術総合センター 国立情報学研究所
2月4日（木）～ 2月5日（金）	ウィンターワークショップ2016・イン・逗子 http://www.ipsj.or.jp/sig/se/event.html			湘南国際村センター
2月8日（月）～ 2月9日（火）	第162回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg162.html	11月24日（火）	当日のみ	国立情報学研究所 （NII）
2月28日（日）～ 2月29日（月）	第108回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro108.html	12月24日（木）	当日のみ	東京大学 駒場キャンパス
3月2日（水）～ 3月4日（金）	インタラクション2016 http://www.interaction-ipsj.org/2016/			科学技術館 （東京都千代田区）
3月3日（木）～ 3月4日（金）	第32回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.iot.ipsj.or.jp/event/iot32-event		当日のみ	虹の松原ホテル （佐賀県唐津市）
3月3日（木）～ 3月4日（金）	第201回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim201.html	12月25日（金）	当日のみ	金沢工業大学

開催日	名　称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
3月7日（月）～ 3月8日（火）	第64回高度交通システムとスマートコミュニティー研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its64.html	1月15日（金）	当日のみ	金沢工業大学 扇が丘キャンパス
3月10日（木）～ 3月12日（土）	情報処理学会 第78回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/78/	11月17日（火）	2月10日（水）	慶應義塾大学 矢上キャンパス
3月11日（金）	国際AIプログラミングコンテストSamurAICoding2015-16WorldFinal http://samuraicoding.info/		当日可	慶應義塾大学 矢上キャンパス
3月14日（月）～ 3月15日（火）	第191回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se191.html		当日のみ	大阪大学 吹田キャンパス
3月24日（木）～ 3月25日（金）	第211回システム・アーキテクチャ・第175回システムとLSIの設計技術・第40回組込みシステム合同研究発表会（ETNET2016） http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc211sldm174emb40.html	1月13日（水）	当日のみ	福江文化会館／ 勤労福祉センター
9月7日（水）～ 9月9日（金）	FIT2016 第15回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2016/			富山大学 五福キャンパス

Webページ（http://www.ipsj.or.jp/）更新情報

［トピックス］

11月15日　人材募集情報（Vol.56 No.12）
11月15日　会誌「情報処理」Webカタログ（Vol.56 No.12）
11月12日　デジタルプラクティス「人工知能の実践的活用」特集論文募集
11月4日　2015年度「優秀教育賞」および「優秀教材賞」推薦のお願い

おふぃすらん

今年は何といってもAI，人工知能で賑わった1年であった．いよいよ5年後に迫った東京オリンピックの頃に人工知能で世の中がどんな風に変わっているのか，楽しみである．

前回の東京オリンピックのときはまだ中学の1年生であった．10月10日の東京の澄み渡った青空にブルーインパルスが描いた5色の五輪のマークは今でも脳裏に焼きついている．ぜひとも少年少女にスポーツの楽しさを味わってもらいたい．

心配なのは新国立競技場，ぜひとも景観や周囲の環境にも配慮した良い施設を作ってほしい．私が毎朝散歩している神宮外苑に現在の2倍の高さ70メートルの施設ができるのはあまり良い気分じゃない．軟式野球場も取り壊されるとの噂だが，これは止めてほしい．

せっかく国立競技場の近くに住んでいるので何かボランティアでお役に立ちたいと思っている．錆びついた英語をもう一度勉強し，外国人向けの通訳はどうか？　しかし，これも人工知能で2，3年のうちに即時通訳が可能になるらしい．スマホを持ってボランティアだ．ICTやビッグデータ分析，メディアアート等を大いに活用して日本の良さを世界に発信したいものだ．

自動車も自動運転の実験が始まっている．2020年には無人のタクシーが東京の街を走り回る計画らしい．スマホで呼び出して行きたいところへ行ってくれる．料金も格段に下がるだろう，こんな嬉しい話はない．人間の運転よりははるかに安全だとは思うけど，事故がゼロになるわけではない．果たして無人運転が法的に認められるのか興味深い問題だ．事故の場合に誰が責任を負うかも大きな問題だし，無人タクシー専門の当たり屋なんか出てくるかもしれない．

情報処理学会は今年，コンピュータ将棋プロジェクトの終了宣言を出した．コンピュータ将棋がトップ棋士と同等以上の実力に達したという認識だ．5年後のオリンピックの年にはコンピュータ将棋ははるかに実力をアップする．トップ棋士が腕時計に表示される次の一手のアドバイスを見ながら対局するときが来るかもしれない．対局中は電子機器禁止になるのだろうか？

東ロボ君（ロボットは東大に入れるか？）の研究も盛んだ．東大京大は無理でも，全国の大学の8割程度には合格する実力らしい．2020年にはどの大学でも楽々合格のレベルになるのだろうか？　それとも入試の問題が様変わりしてコンピュータには解けない問題が出るのか？

2020年のオリンピックに向けて世の中大いに変わりそうである．何ができてどんな社会になるかとても楽しみだ．健康に留意して元気にオリンピックを満喫したいと思う．

（下間（しもつま）芳樹／事務局長）

読後のご意見をお送りください

本誌では，現在約120名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが，より多くの読者の皆さんからのご意見，ご提案をおうかがいし，誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので，毎号巻末に掲載しております所定の用紙またはWebページ（http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html）をお使いいただき，奮って事務局までお寄せください．

一般社団法人 情報処理学会　会誌編集部門
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5　化学会館4F　　E-mail: editj@ipsj.or.jp　Fax(03)3518-8371

人材募集
（有料会告）

申込方法：任意の用紙に件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書に記載する「宛名」，Web 掲載の有無などを記載し，掲載希望原稿（［募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先］）を添えて下記の申込先へ，E-mail，Fax または郵送にてお申し込みください．
＊都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください．

申込期限：毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します．

掲載料金：国公私立教育機関，国公立研究機関　税抜 20,000 円（税込 21,600 円）
賛助会員（企業）　税抜 30,000 円（税込 32,400 円）
賛助会員以外の企業　税抜 50,000 円（税込 54,000 円）
＊本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 税抜 4,000 円（税込 4,320 円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます．

申 込 先：情報処理学会　会誌編集部門（有料会告係）　E-mail: editj@ipsj.or.jp　Fax(03)3518-8375
＊原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています．もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください．

＊特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■産業技術総合研究所イノベーションスクール

募集人員　産総研特別研究員（イノベーションスクール生）　20名程度を予定（任期：1年間（2016年4月1日～2017年3月31日））
趣　　旨　当スクールは博士研究者の人材育成・キャリア開発事業です．博士号を持つ研究者を対象に，特定の専門分野について科学的・技術的な知見を有しつつ，より広い視野を持ち，異なる分野の専門家と協力するコミュニケーション能力や協調性を有して，企業をはじめ社会のさまざまな場で即戦力として活躍できる研究人材の育成を行っています
応募資格　上記趣旨を理解し，講義・演習，企業インターンシップ等に積極的に取り組む方．応募資格の詳細は下記Webページを参照のこと
着任時期　2016年4月1日（応相談）
提出書類　下記の採用情報Webページにてご確認ください
応募締切　2016年1月15日（必着）
送付先／照会先　産総研イノベーションスクール事務局　E-mail: school-saiyou-ml@aist.go.jp（提出書類一式をメール添付でお送りください）
Tel(029)849-1600
そ の 他　Webページ：http://unit.aist.go.jp/inn-s/ci/index.html
※28年度予算により募集人員等については変更となる場合があります

■津山工業高等専門学校総合理工学科情報システム系

募集人員　特命教授，特命准教授または特命助教　1名（任期：2016年4月1日～2017年3月31日（有期雇用）．年度ごとに更新の可能性あり．ただし，最長で2018年3月31日を限度とする．最長雇用契約期間満了後，期間の定めのない雇用形態へ移行の可能性あり）
専門分野　情報工学および関連分野
応募資格　博士の学位を有する方または2016年3月末までに博士の学位取得見込みの方
着任時期　2016年4月1日
応募締切　2016年1月15日（必着）
送 付 先　〒708-8509 岡山県津山市沼624-1　津山工業高等専門学校　総務課　課長補佐　秋山佳子
E-mail: jinji@tsuyama-ct.ac.jp　Tel(0868)24-8212　Fax(0868)24-8219
照 会 先　情報工学科長　教授　大平栄二　E-mail: ohira@tsuyama-ct.ac.jp　Tel(0868)24-8282（直通）
そ の 他　詳細はWebページ（http://www.tsuyama-ct.ac.jp/honkou/koubo.htm）をご覧ください

ソフトウエアジャパン 2016 開催のご案内

『人工知能が 2020 年を変える』

http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2016/

開催日時：2016 年 2 月 4 日（木） 9：30 ～ 18：45 ［開場・受付開始 9：00 ～］

開催会場：一橋大学 一橋講堂会議室／学術総合センター 国立情報学研究所（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2）
* 東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線　神保町駅（A9 出口）徒歩 3 分

主　　催：一般社団法人 情報処理学会

協　　賛：一般社団法人 情報サービス産業協会、一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会、一般社団法人 電子情報技術産業協会、先端 IT 活用推進コンソーシアム、一般社団法人 電子情報通信学会、一般社団法人 日本ソフトウェア科学会 、国立研究開発法人 科学技術振興機構、国立情報学研究所、国立研究開発法人 情報通信研究機構、一般社団法人 データサイエンティスト協会、一般社団法人 人工知能学会、一般社団法人 電気学会、一般社団法人 照明学会、一般社団法人 映像メディア学会、日本計算機統計学会、公益社団法人 日本技術士会、一般社団法人 日本統計学会、一般社団法人 日本数学会、日本計量生物学会、情報計算化学生物学会、特定非営利活動法人 日本バイオインフォマティクス学会（一部予定）

後　　援：文部科学省、経済産業省、総務省、独立行政法人 情報処理推進機構（一部予定）

概　　要：ソフトウエアジャパン 2016 では、「人工知能が 2020 年を変える」をメインテーマに、最近、急速に注目を浴びつつある人工知能技術に焦点をあて、人工知能技術がどのように社会を変えていくかを取り上げていきます。基調講演には、コンピュータ将棋など、人工知能分野の第一線で研究されている、公立はこだて未来大学の松原仁先生に人工知能の最近の動向について講演していただきます。そのほか、自動走行車の研究や、金融機関や医療分野など事業や専門家による実用化が進む IBM Watson の概要、人工知能がビジネスをどう変えていくかなど、多様な人工知能に関する話題を取り上げ、社会に与えるインパクトについて、議論していきます。本イベントは、CITP『CPD プログラム受講証明書』発行対象イベントです。

参 加 費：

	申込区分	事前申込（税込）	当日価格（税込）
午前：IT フォーラムセッション	不問	無料	無料
午後：メインセッション	1. 情報処理学会正会員・賛助会員	6,000 円	7,000 円
	2. 関連学協会・協賛団体の正会員・賛助法人会員	8,000 円	9,000 円
	3. 上記 1、2 以外の一般参加者	11,000 円	12,000 円
	4. 学生 一律（社会人学生は対象外）	1,000 円	1,000 円
	5. ジュニア会員（懇親会参加は 1,000 円）	無料	無料

参加申込：標記の Web サイトから事前申込をお願いします。

参加申込締切：2016 年 1 月 21 日（木） * メインセッション、IT フォーラムセッションとも定員になり次第締切

問合せ先：情報処理学会事業部門　Tel.(03)3518-8373　E-mail: event@ipsj.or.jp

■メインセッション プログラム（13：00 ～ 18：45）［会場：一橋講堂会議室］

13：00 ～ 13：05	**Opening**
13：05 ～ 16：45	**第 1 セッション：キーノート セッション**
13：05 ～ 13：45	基調講演：「人工知能は世の中をどう変えるか」 松原 仁（公立はこだて未来大学 システム情報科学部複雑系知能学科 教授／人工知能学会 会長）
13：50 ～ 14：30	招待講演（1）「Robot of Everything ～ ZMP で取り組む自動運転技術～」 景山 浩二（株式会社 ZMP 新規事業推進室 室長 自動運転技術統括フェロー）
14：35 ～ 15：15	招待講演（2）「オープン・サービス・イノベーションで加速する KNOWLEDGE INTEGRATION」 柴崎 辰彦（富士通株式会社インテグレーションサービス部門 戦略企画統括部 統括部長）
15：20 ～ 16：00	招待講演（3）「質問応答システム Watson とその実用化」 武田 浩一（日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所 技術理事）
16：05 ～ 16：45	招待講演（4）「IoT ビジネスの過去・現在・未来」 谷 直樹（株式会社 NTT ドコモ 法人ビジネス本部 IoT ビジネス部長）
17：05 ～ 18：05	**第 2 セッション：パネル討論「人工知能は 2020 年の世界をどう変えるのか？」**
司　　会：中田 登志之（情報処理学会 ソフトウエアジャパンプログラム委員会 委員長／東京大学大学院理工学系研究科） パネリスト：松原 仁（公立はこだて未来大学 システム情報科学部複雑系知能学科 教授／人工知能学会 会長） 景山 浩二（株式会社 ZMP 新規事業推進室 室長 自動運転技術統括フェロー） 柴崎 辰彦（富士通株式会社インテグレーションサービス部門 戦略企画統括部 統括部長） 武田 浩一（日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所 技術理事） 谷 直樹（株式会社 NTT ドコモ 法人ビジネス本部 IoT ビジネス部長） 野田 五十樹（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人間情報研究部門 総括研究主幹）	
18：15 ～ 18：40	**第 3 セッション：ソフトウエアジャパンアワードセレモニー**
18：20 ～ 18：30	受賞スピーチ（1）「誰でも使える自然言語処理技術を目指して」 工藤 拓（グーグル株式会社 ソフトウェアエンジニア）
18：30 ～ 18：40	受賞スピーチ（2）「調整中」
18：40 ～ 18：45	**Closing**
18：50 ～ 20：25	**情報交換会（懇親会）／デジタルプラクティス論文賞表彰式**

■ IT フォーラムセッション プログラム（09：30 ～ 12：00）

サービスサイエンスフォーラム
「共創型サービスが関係者のコンピテンシーとリテラシーを向上させる」

【セッション概要】サービスビジネスの大きな悩みは、サービスは利益を出しにくいことである。お客様から妥当な対価をいただくためには、提供するサービスに価値がなければならない。ところがサービスの価値は、交換価値、使用価値、経験価値、知覚価値、文脈価値、感性価値などがあり、とても分かりにくい。そこで、本フォーラムではサービスの価値について議論を深めてきた。その結果、サービスの価値を決めているのは、「サービスの成果の大きさ」、「サービスプロセスの良さ」、「顧客の個別的な事前期待への対応度」、「サービス品質の良さ」の 4 つの要素であることが分かってきた。この大胆な仮説を講演とパネルディスカッションで議論する。また、昨年のサービスサイエンスフォーラムで会場から強い要望があった「サービスの価格はどうやって決めればいいのか」についても本フォーラムで果敢に議論してみたい。

ユニバーサルデザイン協創フォーラム
「Barcode-Talker Project のこれから～目が見えなくても中身がわかる商品パッケージを目指して～」

【セッション概要】目の不自由な方が、まとめ買いしてきた商品や、棚の奥にしまってあった缶詰、いま、まさに空けようとしているペットボトルの中身がなんであるかを、空ける前に知ることができたら、どれだけ生活が楽しくなるだろう。こんな着想から、視覚障碍者が自らバーコードをスキャンすることによって、人の目を借りることなく商品情報を得ることを可能とする取り組みが、情報処理学会創立 50 周年にあたる 2010 年、UD 協創フォーラムを中心にスタートしました。

そして創立 55 周年を迎えた本年、端末の読み取り性能は向上し、情報は充実し、そして、商品パッケージにもバーコードの触知加工がなされるようになり、視覚障碍者が自らバーコードを読み取り商品情報を得ることが、にわかに実用性をおびてきました。

本セッションでは、この 5 年間を振り返るとともに、他の先端技術を含む次の 5 年間を展望します。ハードウェア業界、データベース業界、そして商品パッケージ業界からの多数のご参加をお待ちしています。

コンタクトセンターフォーラム
「経営に貢献するコンタクトセンター ～進化のステップとその将来像～」

【セッション概要】本セッションでは、これまで進めてきたコンタクトセンターの経営貢献についての検討内容を概観し、どうしたら経営に貢献できるコンタクトセンターへ進化できるかその道筋を探る。 他方、今後コンタクトセンターを取り巻く環境は、大きく変わることが予想される。労働人口の減少や人の領域に迫る人工知能の出現、「おもてなし」に代表されるお客様の求める価値の変化、これらの影響や課題を踏まえて、コンタクトセンターの将来像や経営貢献の方向について皆さんと議論する。

ビッグデータ活用実務フォーラム
「ビッグデータ：機械学習とデータマイニングの最前線～ 500 人大集会：そのツールと応用～」

【セッション概要】本セッションは午後のメインセッションの導入と位置づけ、人工知能、ロボット、自然言語処理などへの展開も踏まえて考察します。本セッション「ビッグデータ活用実務フォーラム」は、「ビッグデータ：機械学習とデータマイニングの最前線～ 500 人大集会:そのツールと応用～」と題し、機械学習およびデータマイニングツールである R、Python、Spark などとその最新動向についてご紹介し、ビジネスやアカデミアでの機械学習およびデータマイニングツールの利活用促進と情報共有を行うことを目的に企画します。さらには、応用編として医療、農業への応用に関して、スパコンを用いた数理モデリングと予測分析、農業 IT とビッグデータ解析の展開について議論します。なお、このセッションはニコニコ動画を通じて全世界に向けて放映されます。

CITP フォーラム
「CITP（認定情報技術者）の活動と役割」

【セッション概要】CITP（認定情報技術者）に認定された技術者によるコミュニティの活動の一環として、IT フォーラムセッションを開催する。当コミュニティでは、技術者同士の交流を通じた自律的な質の向上、社会提言、外部の審議会・委員会等への参画、情報分野における教育・人材育成活動などを含むさまざまなプロフェッショナル貢献活動、ピアレビューによる高レベル情報技術者の評価等を実施する計画である。本セッションでは、CITP の代表者 10 余名によるライトニングトーク（5 分間程度の短時間発表を連続するプレゼン形式）と聴衆も巻き込んだパネル討論を通じて、CITP の問題意識の共有や今後のコミュニティ活動方針を議論する。

ユニバーサルデザイン協創フォーラム［展示］
「見えなくても中身がわかる !! バーコードを用いた視覚障碍者向け商品案内」

【展示概要】調整中。

JST 科学技術振興機構（関連団体）
「CREST・さきがけ「ビッグデータ基盤・ビッグデータ応用」成果報告会」

【セッション概要】ビッグデータの高度な統合利活用による社会的・経済的な価値創造が期待されています。平成 25 年度からスタートした 2 つの研究領域では、ビッグデータの複数ドメインに共通する本質的課題を解決し、さまざまな分野のビッグデータの統合解析を可能にする次世代基盤技術と、ビッグデータの利活用により大きな社会的インパクトを生むようなさまざまな研究分野との協働によるアプリケーション技術の創出・高度化を目指しております。今回の成果報告会では、平成 25 年度、26 年度に採択された研究者による最新の研究成果をご紹介します。

AITC 先端 IT 活用推進コンソーシアム（関連団体）
「協働プロジェクト『空気を読む家』」

【セッション概要】インターネットやスマートフォンの普及によって、さまざまな先端 IT が人々の生活に密着した存在となりつつあります。そこで、先端 IT の活用推進活動を行う AITC では、先端 IT の 1 つである「Deep Learning」と「IoT」に注目し、これらの技術、およびその組合せの有効性を確認するための実証システムを構築します。本実証システムは、『空気を読む家』というコンセプトのもと、身近な人々の普段の生活の中において先端 IT を活用するもので、実証システムの構築・評価を通じて、これら先端 IT を実際に活用するための提案・提言を行うこと目指しています。

情報処理学会 第 78 回全国大会 イベント企画のみ聴講参加「無料」！！
事前予約申込はこちらから⇒ http：//www.ipsj.or.jp/event/taikai/78/index.html

第 78 回全国大会 聴講参加・講演論文集・懇親会事前予約の御案内
『超スマート社会への扉』

大 会 会 期：2016 年 3 月 10 日（木）～ 12 日（土）
大 会 会 場：慶應義塾大学 矢上キャンパス（横浜市港北区日吉 3-14-1）
共　　催：慶應義塾大学

情報処理学会第78回全国大会の「大会聴講参加」「講演論文集DVD-ROM・冊子」ならびに「懇親会参加」の事前予約申込受付を開始いたします．今回の全国大会では，**第 1 ～ 3 イベント会場・特別会場において開催される招待講演・特別講演企画，イベント企画のみを聴講希望の場合には，大会聴講参加費を会員・非会員，一般・学生を問わずすべて「無料」**とさせていただきます．

イベント企画のみ聴講希望の方は，大会 Web ページから事前予約申込みを頂く際「大会イベント企画限定聴講参加」の方にお申込みください．通常の一般セッション・学生セッションも聴講希望の場合には，聴講参加費は「有料」となりますので，「大会共通聴講参加」の方にお申込みください．皆様どうぞお誘い合わせの上お申込みください．

事前予約申込受付期間：2015 年 12 月 9 日～ 2016 年 2 月 10 日

招待講演・特別講演企画【聴講参加無料】：招待講演 3 件，基調講演 1 件，特別講演 1 件を予定しております．

招待講演 –1	10 日（木）16：40 ～ 17：10 特別会場［藤原洋記念ホール］ 「How To Verify That Software and Systems Development Products AreCorrect and Safe」 Roger U. Fujii（IEEE Computer Society President）
招待講演 –2	10 日（木）17：10 ～ 17：40 特別会場［藤原洋記念ホール］ 「 演目・未定 」 Wen Gao（China Computer Federation CEO）
招待講演 –3	10 日（木）17：40 ～ 18：00 特別会場［藤原洋記念ホール］ 「Looking beyond borders」 Leon Strous（IFIP 会長） 10 日（木）18：00 ～ 18：10 特別会場［藤原洋記念ホール］ 「The role of the Youth in the International ICT Sector - An IFIP Perspective」 Yasas Abeywickrama（InterYIT 代表）
基調講演	11 日（金）13:00 ～ 14:00［第 1 イベント会場 創想館 東館 マルチメディアルーム］ 「超スマート社会の実現に向けて」 文部科学省
特別講演	12 日（土）15：30 ～ 17：30 特別会場［藤原洋記念ホール］ IPSJ-ONE

イベント企画【聴講参加無料】：各イベント企画では，その分野の最前線で活躍されておられる方をお招きし講演，パネル討論等の開催を予定しております．

第 1 イベント会場 創想館・東館 B2F マルチメディアルーム	10 日	9：30 ～ 12：00	「2015 年サイバー事件回顧録～技術と法制度の両面から～」
	10 日	13：00 ～ 15：30	「マイナンバー制度は万全か？　サイバー攻撃の脅威への対策と指針」
	11 日	9：30 ～ 12：00	「ポスト・ディズニー（ピクサー）のコンテンツ産業の行方 ― 今後 10 年のコンテンツ産業を支えるメディア技術は何か ―」
	11 日	14：00 ～ 15：00	「Deep Learning とこれからの AI 研究」
	11 日	15：20 ～ 17：50	「4th IPSJ SamurAI Programming Contest SamurAI Coding 2015-16 World Final」
	12 日	9：30 ～ 12：00	「2020 年に向けた音声翻訳の研究開発」
	12 日	13：00 ～ 14：00	「ポスト「京」スーパーコンピュータの開発概要」
	12 日	14：00 ～ 15：00	「量子コンピュータ」
第 2 イベント会場 11 棟 1F 31 教室	10 日	10：00 ～ 12：00	「～コンピュータパイオニアが語る～「私の詩と真実」」
	10 日	13：00 ～ 15：30	「今後の大学の一般情報教育はどうあるべきか」
	11 日	9：30 ～ 12：00	「知のコンピューティング」
	11 日	15：20 ～ 17：50	「会誌「情報処理」公開編集委員会」
	12 日	9：30 ～ 12：00	「オープン・サービス・イノベーション活用の秘訣は何か？―デジタルプラクティスライブ―」
	12 日	13：00 ～ 15：00	「教育と学習における ICT の活用の新時代」

第 3 イベント会場 厚生棟 3F 大中会議室	10 日　9：30 ～ 12：00　「論文必勝法 ～一流論文のための羅針盤～」 10 日　13：00 ～ 15：30　「産業界における IoT の動向と日本の戦略」 11 日　9：30 ～ 12：00　「実践的情報教育協働ネットワーク enPiT の現状と新たな分野への適用」 11 日　15：20 ～ 17：50　「実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発」 12 日　9：30 ～ 12：00　「ビッグデータとプライバシ」 12 日　13：00 ～ 15：00　「自動車の自動走行・高度運転支援技術開発の最前線」
特別会場	12 日　13：00 ～ 15：00　「ジュニア会員特別企画」

一般セッション・学生セッション【聴講参加 有料】：

約 1,400 件の研究成果発表があります．大会 3 日間でおよそ 30 会場を使用して，190 あまりのセッションが組まれ，活発な発表，議論・討論が行われます．

懇親会【有料】：

毎回多数の方にご参加をいただき親睦を深めております．
開催日時：2016 年 3 月 10 日（木）18：30 ～ 20：30（予定）
開催会場：慶應義塾大学 日吉キャンパス 協生館 2F クイーン・アリス ガーデンテラス日吉

■聴講参加費・講演論文集代・懇親会参加費（税込）

申込種別		予価（2/10 迄）	定　価
大会イベント企画のみ聴講参加		無料	無料
大会共通聴講参加（正会員）		3,100 円	4,000 円
大会共通聴講参加（正会員）＊DVD-ROM 1 枚付き		8,300 円	9,000 円
大会共通聴講参加（一般非会員）		6,200 円	7,000 円
大会共通聴講参加（学生会員・学生非会員・ジュニア会員）		無料	無料
懇親会参加 一般（正会員・一般非会員）		4,000 円	5,000 円
懇親会参加 学生（学生会員・学生非会員）		2,000 円	3,000 円
懇親会参加 学生（ジュニア会員）		1,000 円	1,000 円
講演論文集分冊（個人・法人問わず）		12,400 円	14,000 円
講演論文集セット ＊DVD-ROM 1 枚付き（個人・法人問わず）		58,700 円	63,000 円
講演論文集 DVD-ROM（個人）		9,000 円	9,000 円
講演論文集 DVD-ROM（法人）		57,000 円	57,000 円
送料	セットおよび 4 冊以下	－	800 円
	5 冊以上	－	1,100 円
	DVD-ROM 1 枚につき	－	600 円

■留意事項

※「大会イベント企画のみ聴講参加」は，招待講演企画・イベント企画（大会第 1 ～ 3 ベント会場・特別会場で行われるイベント企画）・各種展示のみ聴講参加可能です．一般セッション・学生セッションの聴講はできませんのでご注意ください．
一般セッション・学生セッションも聴講参加希望の場合には，大会共通聴講参加（有料）の方にお申込みください．
※「大会共通聴講参加」は，一般セッション・学生セッションを含む大会すべてのセッションの聴講参加が可能です．
※ DVD は学生限定・大会会場限定で学割会場販売（5,000 円）いたします．
※ 講演論文集，DVD-ROM 共に，大会開催前の事前発送は致しておりません．
受取りは当日会場受取りか大会終了後の郵送となります．
※ 講演論文集または DVD-ROM を郵便で受け取る場合には別途送料がかかります．
※ 講演参加申込の方は聴講参加申込は不要です．聴講参加をお申込みになりますと二重申込となりますのでご注意ください．

■聴講参加および講演論文集の予約申込，詳細は，以下のサイトからお願いいたします．

第 78 回全国大会公式 Web サイト　http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/78/index.html

■問合先

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
一般社団法人情報処理学会 事業部門
電話（03）3518-8373　FAX（03）3518-8375　E-mail: jigyo@ipsj.or.jp

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします．

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1ページ，1/2ページまたは1/4ページ	（主催・共催）	
			1ページ	50,000円（税込54,000円）
			1/2ページ	30,000円（税込32,400円）
			1/4ページ	20,000円（税込21,600円）
			（協賛）	
			広告として取り扱う	
人材募集	国公私立教育機関，国公立研究機関，企業の人材募集	10行程度	国公私立教育機関，国公立研究機関	20,000円（税込21,600円）
			賛助会員（企業）	30,000円（税込32,400円）
			賛助会員以外の企業	50,000円（税込54,000円）
	＊本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金4,000円（税込4,320円）で同一内容を本会Webページに掲載できます．			

■申込方法　任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください．

■原稿の書き方

●行事次第書：　A4判カメラレディまたはPDFファイル（フォント埋め込み）とします．
（1ページ）　天地260mm × 左右175mm
（1/2ページ）天地130mm × 左右175mm
（1/4ページ）天地　65mm × 左右175mm
＊ A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご留意ください．

●人 材 募 集：　次の項目を明記し，E-mailまたはFax，郵送にてお送りください．
［募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先］
＊なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください．

■申込期限　毎月15日を締切日とし，翌月号（15日発行）に掲載します．

■掲載料金　掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3カ月以内にお支払いください．

■掲載申込先　一般社団法人 情報処理学会　会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5　化学会館4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp　Tel (03) 3518-8371　Fax (03) 3518-8375

各　賞　表　彰（概要）

詳細は Web サイト（http://www.ipsj.or.jp/award/sho_index.html）をご覧ください

2015 年度ソフトウエアジャパンアワードの表彰

本会では 2004 年度から毎年産業界向けのイベントとして「ソフトウエアジャパン」を開催しており，同イベントにおいて，日本発の世界に誇るソフトウエアの研究者，開発者，技術者で，情報技術分野において特に産業界への功労がありその業績が顕著であると共に，今後の産業界への活躍が期待できる方へ「ソフトウエアジャパンアワード」を贈呈しております．

本年度の受賞者は，技術応用運営委員会，IT フォーラム推進委員会，当該ソフトウエアジャパンプログラム委員会，ソフトウエアジャパン実行委員会の各委員および情報処理学会フェロー，各研究会主査から推薦された候補者のうち，表彰規程およびソフトウエアジャパンアワード選定手続きに基づき，選定委員会において厳正な審査を行い，理事会承認（2015 年 9 月 24 日付，定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て，下記 2 君に決定されました．

受賞者には，本会表彰規程により，ソフトウエアジャパン 2016 において，表彰状および賞金が授与される予定です．

○「自然言語処理技術の開発と公開」
工藤　拓君

○「情報技術とアートを融合した新たな表現の創出と国内外への展開」
猪子寿之君

ソフトウエアジャパン 2016 は以下で開催予定．

- 会議名称：ソフトウエアジャパン 2016
  「人工知能が 2020 年を変える」
- 開催日時：2016 年 2 月 4 日（木）9：30 ～ 18：45
- 開催会場：一橋大学 一橋講堂 会議室／
  学術総合センター 国立情報学研究所
- http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2016/

IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告を IPSJ メールニュースで配信しています．本会会員が主な読者なので，ターゲットを絞った広告に最適です．

●配 信 数：約 29,000 通（原則毎週月曜日配信）
●読 者 層：本会会員および非会員
●形　　式：テキストのみ．等幅半角 70 字 ×5 行．URL を入れてください．
●掲載位置：ヘッダ（目次の上）
　　フッタ（本文の最下行）
●掲 載 料：ヘッダ：1 回 50,000 円（税込 54,000 円）※3 社限定
　　フッタ：1 回 20,000 円（税込 21,600 円）
　　※ それぞれ行数超過については別途相談
●申 込 先：［広告代理店］
　　アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp
　　〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27　Tel(03)3367-0571　Fax(03)3368-1519
　　または，情報処理学会 会誌編集部門　E-mail: editj@ipsj.or.jp　Tel(03)3518-8371
●申込締切：毎週水曜日締切，翌週月曜日配信となります．
●見　　本：

―［広告］―

■■■　○○セミナー　■■■
開催日時：1 月 10 日（火）・11 日（水）・12 日（木）13：00 ～ 17：00
会場：○○コンベンションセンター
会費：情報処理学会会員の方には割引があります．
詳細はこちらをご覧ください：http://www.....com/

―［広告］―

一般社団法人
情報処理学会
Information Processing Society of Japan

「情報処理」カタログ同封サービスのご案内

カタログ同封サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社 / 貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。
通常の DM と異なり学会誌に同封しますので、**読者の開封率は格段に上がります。**
また，カタログ送付にかかる**コストを最小に抑えることができ**、なおかつ情報処理を専門とする読者に**ターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能**となります。

お申し込み方法と掲載までの手続き

❶封入希望月の**前月 15 日**までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
- ◆会社名，担当者，連絡先（住所、Tel、Fax、E-mail）　◆封入希望号
- ◆サイズ　◆カタログの簡単な内容説明
- ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。

❷封入希望月の遅くとも**前月末日**までに下記事項について手配をお願いします。
- ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください（PDF、Fax 可）。
- ◆納品業者をお知らせください。

❸**納品日は封入希望月の 5 日（土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日）です。**
日付指定にて必要枚数（20,000 枚）を印刷し指定の納品先へお送りください。
- ※ 納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
- ※ 納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。

❹カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。

❺後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1 通あたり約17.5 円！

基本価格　350,000 円
（税込 378,000 円）

対象：全会員　**20,000 通** 配布
（正会員 / 名誉会員 / 学生会員 / 賛助会員）

大学や共催事業はさらに割引も！

大学 / 研究所 / 賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学 / 研究所 / 賛助会員 （基本価格の 40% Off ！）	**210,000 円** （税込 226,800 円）
情報処理学会主催・共催事業＊ （基本価格の 80% Off ！）	**70,000 円** （税込 75,600 円）

＊情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4 判または A3 判二つ折り（その他についてはご相談ください）
用紙：色上質厚口（四六判 80kg）またはコート紙（四六判 90kg）相当

問合せ先

［広告代理店］アドコム・メディア（株）　E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
Tel.(03)3367-0571　Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部門　E-mail: editj@ipsj.or.jp
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F
Tel.(03)3518-8371　Fax.(03)3518-8375

IPSJ MAGAZINE Vol.57 No.1 (Jan. 2016)

CONTENTS

Preface

Outlet Strategy of AI Research
Junichi TSUJII (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))

Special Features

NLP Technologies and Its Future Directions based on Error Analysis Project

2 **0. Foreword**
Satoshi SEKINE (New York Univ.) and Kentaro INUI (Tohoku Univ.)

3 **1. Project Next NLP : Improve NLP Technologies through Error Analyses**
Satoshi SEKINE (New York Univ.) and Kentaro INUI (Tohoku Univ.)

6 **2. A Brief Introduction into Natural Language Processing**
Kentaro INUI (Tohoku Univ.) and Satoshi SEKINE (New York Univ.)

10 **3.1 Morphological Analysis**
Shinsuke MORI (Kyoto Univ.), Nobuhiro KAJI (Yahoo Japan Corp.), Yugo MURAWAKI (Kyushu Univ.) and Itsumi SAITO (NTT Media Intelligence Labs.)

12 **3.2 Parsing**
Daisuke KAWAHARA (Kyoto Univ.)

14 **3.3 Predict-argument Structure Analysis**
Yuichiroh MATSUBAYASHI (Tohoku Univ.)

16 **3.4 Named Entity Recognition**
Tomoya IWAKURA (Fujitsu Labs. Ltd.)

18 **3.5 Paraphrasing Technology : Dealing with Linguistic Expressions Having the Same Meaning**
Atsushi FUJITA (National Institute of Information and Communications Technology)

20 **3.6 Word Sense Disambiguation**
Hiroyuki SHINNOU (Ibaraki Univ.)

22 **3.7 Knowledge Acquisition**
Tomohide SHIBATA (Kyoto Univ.)

24 **3. 8 Project Next IR : Failure Analysis in Information Retrieval**
Hidetsugu NANBA (Hiroshima City Univ.), Tetsuya SAKAI (Waseda Univ.) and Noriko KANDO (National Institute of Informatics)

26 **3.9 Error Analysis for Automatic Summarization**
Hitoshi NISHIKAWA (Tokyo Institute of Technology)

28 **3.10 Information Extraction - Error Analysis on Product Attribute Value Extraction -**
Keiji SHINZATO (Rakuten Institute of Technology)

30 **3.11 Review Analysis Process and Product in Error Analysis**
Atsushi FUJII (Tokyo Institute of Technology) and Takashi INUI (Univ. of Tsukuba)

32 **3.12 Error Analysis of Web Application Task - Case Study on Twitter based Disease Surveillance -**
Eiji ARAMAKI (NAIST) and Naoaki OKAZAKI (Tohoku Univ.)

34 **3.13 The Todai Robot Project : Evaluation on the Yozemi Center Test**
Takuya MATSUZAKI (Nagoya Univ. / National Institute of Informatics), Hikaru YOKONO and Yusuke MIYAO (National Institute of Informatics)

36 **3.14 Machine Translation**
Graham NEUBIG (NAIST), Taku KUDO (Google) and Koichi AKABE (NAIST)

38 **3.15 Japanese Proofreading**
Kazuhide YAMAMOTO (Nagaoka Univ. of Technology) and Yuchang CHENG (Fujitsu Labs. Ltd.)

40 **3.16 English Proofing**
Tomoya MIZUMOTO (Tohoku Univ.)

42 **3.17 Error Analysis for Dialogue Systems - Collection of Chat Dialogues and Dialogue Breakdown Ditection -**
Ryuichiro HIGASHINAKA (NTT Media Intelligence Labs.) and Kotaro FUNAKOSHI (Honda Research Institute Japan Co., Ltd.)

Articles

44 **Secure Computation - Homomorphic Encryption and Its Applications**
Takeshi SHIMOYAMA (Fujitsu Labs. Ltd.)

52 **Time Synchronization Supporting ICT Society**
Tsukasa IWAMA (National Institute of Information and Communications Technology)

Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's

58 **Oral History : Interview with Eiiti WADA**
Hiroharu ASAHI (Hitachi, Ltd.), Naoya UKAI (Fujitsu Ltd.), Tsuneo URAKI (Tokyo Univ. of Technology), Kenichiro NOGUCHI (Kanagawa Univ.), Hiroshi HATTA (OKI Consulting Solutions Co., Ltd.), Masahiro MAEJIMA (National Museum of Nature and Science) and Akihiko YAMADA (Computer Systems and Media Lab.)

"Peta-gogy" for Future

69 **What Could be Seen at the Workshop of 'Yokosuka Schoolchild Programming Experience Classroom'**
Toshinori SAITO (Japan Professional School of Education)

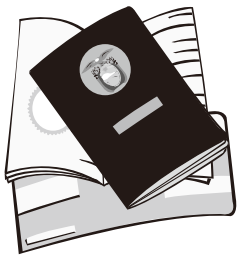
70 **Classroom in the Midst of Upheaval**
Yasuo MATSUYAMA (Waseda Univ.)

74 **What is "Open Education"? - Opening Up Education and MOOC Movement -**
Katsusuke SHIGETA (Hokkaido Univ.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

79 **One Thing, One Name**
Haruo HAYAMI (Kanagawa Institute of Technology)

66 **Activities of IPSJ - Special Reports by the Female Team of IPSJ Magazine -**
80 **Biblio Talk**
82 **Conference Report**
84 **Conference Report**
88 **Conference Report**
90 **The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine**



論文誌ジャーナル掲載論文リスト
Vol.56 No.12（Dec. 2015）

【特集：ヒューマンファクタを考慮したセキュリティとプライバシ】

■ 特集「ヒューマンファクタを考慮したセキュリティとプライバシ」の編集にあたって　小松文子
■ 情報漏えいにつながる行動に関する実証分析　竹村敏彦 他
■ Partially Doubly-Encrypted Identity-Based Encryption Constructed from a Certain Scheme for Content Centric Networking　Makoto Sato 他
■ 集団的防護動機理論に基づく情報セキュリティ対策実行意思モデルの提案と，その活用　栗野俊一 他
■ IT システム運用現場のヒューマンエラーに影響を及ぼす要因分析と考察　島　成佳 他
■ 誘導質問術からみた個人情報漏えいの考察　内田勝也
■ 安心できるプライバシ指標の調査　清　雄一 他
■ データベース分割再構成法による k- 匿名化が誘発する濡れ衣の軽減　角野為耶 他
■ 集合論的記法を用いたプライバシーと個人の関係性整理技法の提案　吉本明平 他
■ 気象に基づく服装情報算出のための寒冷馴化に関する調査　中野裕貴 他
■ One-Round Authenticated Key Exchange without Implementation Tricks　Kazuki Yoneyama
■ Android アプリケーションの自動リパッケージに対する耐性評価　金井文宏 他
■ メソッドの呼び出し関係のグラフを用いた Android マルウェア検知手法の改良　庄田祐樹 他
■ Android マルウェアへの対策行動へ利用者を誘導する警告ダイアログの提案と評価　高橋雅香 他
■ コンパイラと OS の連携によるデータフロー追跡手法　内匠真也 他
■ 非現実画像 CAPTCHA：常識からの逸脱を利用した 3DCG 画像 CAPTCHA　藤田真浩 他
■ 情報セキュリティ分野におけるヒヤリ・ハット情報の収集について　佐々木崇裕 他
■ Questionnaire testing : Identifying Twitter user's information sharing behavior during disasters　Nor Athiyah Binti Abdullah 他

【一般論文】

■ Performance Management of Cloud Populations via Cloud Probing　Marat Zhanikeev 他
■ 構文情報リポジトリを用いた細粒度リファクタリング検出手法　藤原賢二 他
■ 足取り取得によるパーソナリティを考慮したユーザ状態の推定　植村喜弘 他
■ Unisoner：様々な歌手が同一楽曲を歌った Web 上の多様な歌声を活用する合唱制作支援インタフェース　都築圭太 他
■ テキストからの表現豊かな音声合成を目指した宣伝文からの強調アクセント句の予測　中嶋秀治 他
■ On the Redundancy of Delivery Time in an In-Line Machine Model　Eishi Chiba 他
■ Winny ネットワークにおけるクラスタリングを用いたインデックスポイゾニングシステムの実装と評価 *　油田健太郎 他

*：推薦論文　Recommended Paper
†：テクニカルノート　Technical Note

◎twitter で情報発信中！　情報処理学会ツイッター➤　@IPSJcom

フォロー・リツイート お願いします

ソフトウェア工学研究会➤ @IPSJ_SIGSE
ハイパフォーマンスコンピューティング研究会➤ @HpcCommittee
ヒューマンコンピュータインタラクション研究会➤ @ipsj_sighci
情報基礎とアクセス技術研究会➤ @sigifat
モバイルコンピューティングとユビキタス通信➤ @ipsj_sigmbl
インターネットと運用技術研究会➤ @IPSJ_SIGIOT
自然言語処理研究会➤ @ipsj_signl
音楽情報科学研究会➤ @ipsj_sigmus
コンピュータと教育研究会➤ @ipsjce
エンタテインメントコンピューティング研究会➤ @ipsj_sigec
バイオ情報学研究会➤ @sigbiojapan

◎Facebook で情報発信中！　情報処理学会ページ　www.facebook.com/IPSJcom

いいね！・シェア お願いします

計算機アーキテクチャ研究会　www.facebook.com/groups/ipsj.sigarc/
システムソフトウェアと オペレーティング・システム研究会　www.facebook.com/groups/ipsj.sigos/
モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会　www.facebook.com/IPSJ.SIG.MBL
インターネットと運用技術研究会　www.facebook.com/ipsjiot
コンシューマ・デバイス＆システム研究会　www.facebook.com/sig.cds
電子化知的財産・社会基盤研究会　www.facebook.com/eipjp
会員の力を社会につなげる研究グループ　www.facebook.com/ssr.ipsj

論文誌トランザクション掲載論文リスト（Dec. 2015）

【論文誌 プログラミング Vol.8 No.4】

■ Fast, Flexible, and Declarative Construction of Abstract Syntax Trees with PEGs　Kimio Kuramitsu
■ Proof of Soundness of Concurrent Separation Logic for GPGPU in Coq　Izumi Asakura 他
■ 単体テストを用いたチュートリアルの自動生成手法　三上裕明 他
■ A type safe access to key-value stores from functional languages　Katsuhiro Ueno 他

【論文誌 教育とコンピュータ Vol.1 No.4】

■ MOOC と学習解析：教育革新のための情報基盤に向けて　山田恒夫
■ フィジカル・インタラクションを使ったプログラミング学習のための教材開発と実践　有賀妙子 他
■ 小学校 1 年生におけるタブレット端末を活用した授業実践と評価　鈴木二正 他
■ 不正コピー検出手法を備えたオンラインジャッジシステムの開発　岩本　舞 他
■ 情報系演習向け演習支援システム　大木　優 他
■ 児童や生徒に関する教職員の気づきを収集・共有・活用できるシステムの開発　木下　彩 他
■「情報基礎」におけるビデオ講義を用いた反転授業の評価　渡辺博芳 他
■ PenFlowchart を用いた，フローチャートによるプログラミング学習の効果に対する評価　中西　渉 他
■ 大学生アンケートからの文系理系学生の特徴に関する分析　野津田雄太 他
■ フィジカルプログラミングを用いた初心者向けプログラミング学習システムの開発　Dennis Stritzke 他

【Transactions on Computer Vision and Applications Vol.7】

■ A General Inlier Estimation for Moving Camera Motion Segmentation　Xuefeng Liang 他
■ The Maximal Self-Dissimilarity Interest Point Detector　Federico Tombari 他
■ Dithering-based sampling and weighted alpha-shapes for local feature detection　Christos Varytimidis 他

【論文誌 コンシューマ・デバイス＆システム Vol.5 No.5】

■ 動画像リアルタイムエンコーダにおける H.264 CABAC の並列処理技術　谷田部祐介 他
■ ビル設備向け遠隔サービスにおけるゲートウェイ装置の運用支援システム　川崎　仁 他

会員サービスのご案内

会員の皆様に特典としてご利用いただける各種サービスをご案内いたします（本会 Web ページ：http://www.ipsj.or.jp/member/other/yutai.html 参照）．会員特典等にご意見ご要望等がございましたら事務局会員サービス部門（E-mail:mem@ipsj.or.jp）までお寄せください．

◆ ホテル（5 ～ 53%割引）
JR ホテルグループ，グランビスタホテル＆リゾーツ，ダイワロイヤルホテルズ，東急ホテルズ，阪急阪神第一ホテルグループ，ホテル法華クラブ，プリンスホテル，都ホテルズ＆リゾーツ，FUJIYAMA 倶楽部，ウィクリーマンション東京
◆ レンタカー（最大 55%割引）
ニッポンレンタカー，日産レンタカー，タイムズカーレンタル
◆ パック旅行（3 ～ 5%割引）
日本旅行，近畿日本ツーリスト，トップツアー，京王観光
◆ UC 丸善アカデミックカード（10%割引）
◆ バーシティウェーブ　コンピュータソフト（教育機関所属の方はアカデミック価格で）

ご意見をお寄せください！

【1 月 10 日頃までにお出しください】

宛　先　一般社団法人 情報処理学会　モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html　Fax(03)3518-8375　E-mail: editj@ipsj.or.jp
（E-mail で送信される場合は，10-1-a のようにコードでお答えください）
※ ご意見の投稿に伴う，住所，氏名，所属などの個人情報については，学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします．
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

［コード］

〔1〕ご氏名

〔2〕ご所属　　Tel.（　　）　　-

〔3〕E-mail:

〔4〕業種：（a）企業（サービス業）（b）企業（製造業）（c）研究機関（d）教育機関（大学・高専など）
（e）学生（f）学生（ジュニア会員）（g）その他…… 4- [　　]

〔5〕職種：（a）研究職（b）開発・設計（c）システムエンジニア（d）営業（e）本社管理業務
（f）会社経営・役員・管理職（g）教職員（大学・大学院）（h）教職員（小・中・高校・高専など）
（i）学生（j）学生（ジュニア会員）（k）その他 …… 5- [　　]

〔6〕年齢：（a）10 代（b）20 代（c）30 代（d）40 代（e）50 代（f）60 代以上 …… 6- [　　]

〔7〕性別：（a）男性（b）女性 …… 7- [　　]

〔8〕あなたはモニタですか？：（a）はい（b）いいえ …… 8- [　　]

〔9〕あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります．その場合：
（a）実名可（氏名のみ掲載）（b）匿名希望（c）掲載を希望しない …… 9- [　　]

〔10〕今月号（2016 年 1 月号）の記事は良かったですか．下記の記事すべてについて評価をご回答ください．
［ a …大変良い　b …良い　c…普通，どちらとも言えない　d …悪い　e…読んでいない ］

巻頭コラム：研究の出口戦略…… 10-1- [　　]
特集：自然言語処理技術の現状と展望
1. Project Next NLP…… 10-2- [　　]
2. 自然言語処理技術の概要 …… 10-3- [　　]
3.1 形態素解析 …… 10-4- [　　]
3.2 構文解析 …… 10-5- [　　]
3.3 述語項構造解析 …… 10-6- [　　]
3.4 固有表現抽出 …… 10-7- [　　]
3.5 言い換え技術 …… 10-8- [　　]
3.6 語義曖昧性解消 …… 10-9- [　　]
3.7 知識獲得 …… 10-10- [　　]
3.8 Project Next IR …… 10-11- [　　]
3.9 自動要約の誤り分析 …… 10-12- [　　]
3.10 情報抽出…… 10-13- [　　]
3.11 レビュー解析…… 10-14- [　　]
3.12 Web 応用タスクにおけるエラー分析 …… 10-15- [　　]
3.13 ロボットは東大に入れるか…… 10-16- [　　]
3.14 翻訳…… 10-17- [　　]
3.15 日本語校正…… 10-18- [　　]
3.16 英文校正…… 10-19- [　　]
3.17 対話システムにおけるエラー分析…… 10-20- [　　]
暗号を解かずにデータ処理…… 10-21- [　　]
ICT 社会を支える時刻同期技術 …… 10-22- [　　]
古機巡礼 / 二進伝心：オーラルヒストリー：和田英一氏インタビュー…… 10-23- [　　]
女子部が行く！ ―学会探訪記―：第 5 回　調査研究運営委員会 …… 10-24- [　　]
ぺた語義：横須賀市の「小学生プログラミング体験教室」の現場で見える風景…… 10-25- [　　]
ぺた語義：激変のさなかにある教室風景…… 10-26- [　　]
ぺた語義：オープンエデュケーションとは…… 10-27- [　　]
IT 好き放題：一物一名…… 10-28- [　　]
ビブリオ・トーク：Cooking for Geeks …… 10-29- [　　]
会議レポート：UbiComp 2015 参加報告…… 10-30- [　　]
会議レポート：第 18 回画像の認識・理解シンポジウム（MIRU2015）開催報告 …… 10-31- [　　]
会議レポート：ICFP 2015 参加報告 …… 10-32- [　　]
会誌編集委員会女子部…… 10-33- [　　]
連載漫画：IT 日和…… 10-34- [　　]

〔11〕本号で最も良かった記事は何ですか？　上記〔10〕の設問の記事番号から 1 つだけ選び（例：10-8 の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください．上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください．

〔11-1〕良かった記事 …… 11-1- [　　]

〔11-2〕この記事に対する貴方の立場：a）専門家　b）非専門家 …… 11-2- [　　]

〔11-3〕選んだ理由（下記から，いくつでも選択可）…… 11-3- [　　]

a) 技術・研究動向がよく分かった　b）知的興味をかきたてられた　c) 新たな知識を得ることができた　d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕本号で最も良くなかった記事は何ですか？　上記〔10〕の設問の記事番号から 1 つだけ選び（例：10-8 の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください．上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください．

〔12-1〕良くなかった記事 …… 12-1- [　　]

〔12-2〕この記事に対する貴方の立場：a）専門家　b）非専門家 …… 12-2- [　　]

〔12-3〕選んだ理由（下記から，いくつでも選択可）…… 12-3- [　　]

a) 記事の内容に誤りがあった　b) ありきたりの内容だった　c) 記事が難しすぎた　d) 何を言いたいのか分からなかった　e）宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味が持てなかった　g）その他（下記に具体的にご記入ください）

〔13〕今月の特集に対する貴方の立場を教えてください．

〔13-1〕自然言語処理技術の現状と展望：a）専門家　b）非専門家 …… 13-1- [　　]

〔14〕設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください．

〔15〕会誌に対するご意見やご感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください．
（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部）　※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください．
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F　　Fax(03)3518-8375　http://www.ipsj.or.jp/

担　当	E-mail	Tel（ダイヤルイン）	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会　員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会誌配布，会員特典，会費等口座振替，海外からの送金，賛助会員，電子図書館
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，論文誌（デジタルプラクティス）の編集・査読，DP レポート，コンピュータ博物館（情報処理技術遺産），著作権
図　書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／ JIP ／トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，研究グループ，シンポジウム，国際会議，IFIP 委員会，情報処理教育委員会，アクレディテーション対応，認定情報技術者制度
■ 事業部門			
事　業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，プログラミングコンテスト，プログラミング・シンポジウム，協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナ，短期セミナ，IT フォーラム，ソフトウエアジャパン，その他講習会
■ 管理部門			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会，支部，選挙，総務系選奨，関連団体，アドバイザリーボード
経　理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，セキュリティ，電子化委員会，電子図書館，IPSJ メールニュース
■ 情報規格調査会			
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html		ISO/IEC JTC 1 での情報技術の標準化業務 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8　機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808　Fax (03)3431-6493　http://www.itscj.ipsj.or.jp/

本特集の主な著者はProject Next NLPの各タスクのリーダーであり，忙しい中タスクの運営を行っている．その上で本記事を担当していただいたことに感謝したい．また，本特集の企画を立て，編集を担当していただいた情報処理学会の皆様，特に担当編集委員である鶴岡先生，事務担当の後路様にはご迷惑をおかけした．ここに記して感謝の意を表したい．本特集はなるべく自然言語処理を知らない人にも自然言語処理の現状と課題が分かるような記述を心がけたが，ページ数の制約などのために十分に実現できていないところもあるかもしれない．多くの自然言語処理の入門書が出版されており，本特集を読んで興味を持っていただいた読者には，そのような本を手にとっていただければ望外の喜びである．

（関根　聡／本特集ゲストエディタ）

詳しくは http://www.ipsj.or.jp/ をご覧ください

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて，あなたのお役に立ちます．

会員募集中!!

申込／照会先　一般社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5　化学会館4F
Tel(03)3518-8370（会員サービス部門）　E-mail: mem@ipsj.or.jp

次号（2月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください．

「特集」かわいい

「カワイイ」の哲学―その歴史的パースペクティブと現代的意義―／かわいい江戸時代絵画の背景／かわいい人工物の系統的研究―「かわいい」という感性価値を持つ人工物の物理属性―／"かわいい"感情の心理学モデル／いきいきと動くかわいいインタラクティブキャラクタ／Lovotics：ロボットとの愛と性／かわいい画像を見たときの生体反応／Fab Girl：感性を活かしたものづくり～「かわいい」ものづくりワークショップ実践報告～／かわいい感性デザイン賞―日本感性工学会の取り組み―／ACM CHI 2015 日本文化と感性（Asian Symposium "Japanese Culture and Kansei"）開催報告

「小特集」KDD Cup 2015

国際チームにおけるモデリング手法とチームガイドライン／組織に創発現象を起こすクラウド型データ分析環境／"メンバの技術的バックグラウンドの多様性を活かした組織的データ分析／学生チームによるデータ分析プロセスとメリット

解　説：日本発，国際規格の作り方―ISO/IEC 23008-1（MMT）と次世代放送システムの標準化―……青木秀一
文法圧縮最前線……田部井靖生

教育コーナー：ぺた語義
連　載：ビブリオ・トーク／会誌編集委員会女子部
コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT好き放題
会議レポート：UIST2015 参加報告／SIGGRAPH Asia 2015 参加報告

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	330,000 円（税込 356,400 円）	—	—
表 3	275,000 円（税込 297,000 円）	—	—
表 4	385,000 円（税込 415,800 円）	—	—
表 2 対向	300,000 円（税込 324,000 円）	—	—
表 3 対向	265,000 円（税込 286,200 円）	190,000 円（税込 205,200 円）	155,000 円（税込 167,400 円）
前付 1 頁	250,000 円（税込 270,000 円）	165,000 円（税込 178,200 円）	135,000 円（税込 145,800 円）
前付 1/2 頁	—	—	80,000 円（税込 86,400 円）
前付最終	—	—	148,000 円（税込 159,840 円）
目次前	—	—	148,000 円（税込 159,840 円）
差込（A 判 70.5kg 未満　1 枚）	275,000 円（税込 297,000 円）		
差込（A 判 70.5kg ～ 86.5kg　1 枚）	350,000 円（税込 378,000 円）		
同封（A 判　1 枚）	350,000 円（税込 378,000 円）		

■「情報処理」

発　　行　一般社団法人 情報処理学会
発行部数　20,000 部
体　　裁　A4 判
発 行 日　毎当月 15 日
申込締切　前月 10 日
原稿締切　前月 20 日
広告原稿　完全版下データ
原稿寸法　1 頁　天地 260mm× 左右 180mm
　　1/2 頁　天地 125mm× 左右 180mm
雑誌寸法　天地 297mm× 左右 210mm

■問合せ・お申込み先

〒 169-0073　東京都新宿区百人町 2-21-27
アドコム・メディア（株）（Tel/Fax/E-mail は下に記載）

＊原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます.
＊同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください.

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は，ご希望の会社名にチェック ☑ を入れ，送付希望先をご記入の上，Fax にて（または E-mail にて必要事項を記入の上）アドコム・メディア（株）宛にご請求ください.

■「情報処理」 57 巻 1 号　掲載広告（五十音順）

□インタフェース …… 表 2
□講談社…… 前付最終
□とめ研究所…… 目次前上
□フォーラムエイト …… 表 2 対向
□三菱電機…… 表 3

□ すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お 名 前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

勤 務 先 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 所属部署 ＿＿＿＿＿＿＿＿

所 在 地 （〒　　-　　）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

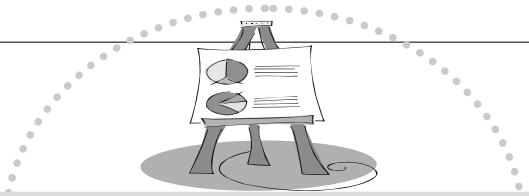
TEL（　　）　　-　　FAX（　　）　　-

ご専門の分野 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 アドコム・メディア（株）

Tel.03-3367-0571　Fax.03-3368-1519　E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介いたします．
Web サイト（http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html）「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので，ぜひご覧ください．

照会先　情報処理学会　会員サービス部門　E-mail: mem@ipsj.or.jp　Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員（20 ～ 50口）

（株）日立製作所

富士通（株）

日本電気（株）

三菱電機（株）

（株）サイバーエージェント

（株）東芝

日本アイ・ビー・エム（株）

●●● 賛助会員（10 ～ 19口）

（株）リクルートホールディングス

グーグル（株）

グリー（株）

（株）NTT ドコモ

日本電信電話（株）

日本マイクロソフト（株）

●●● 賛助会員（3 ～ 9口）

NTT データ（株）

沖電気工業（株）

楽天（株）

情報サービス産業協会

NTT コムウェア（株）

（株）うえじま企画

三美印刷（株）

ソニー（株）

パナソニック（株）

（株）フォーラムエイト

●●● 賛助会員（2口）

（株）KDDI 研究所

NTT アドバンステクノロジ（株）

NTT ソフトウェア（株）

三協印刷（株）

鉄道情報システム（株）

（株）ナレッジクリエーションテクノロジー

日本放送協会
放送技術研究所

（株）日立システムズ

インテル（株）

【A～Z】

(株) ATR-Trek
(株) CIJ
(株) CIJネクスト
(株) HBA
(株) IT働楽研究所
JRCエンジニアリング(株)
(株) JR東日本情報システム
(株) JTBコーポレートセールス法人営業川崎支店
(株) K&S
(株) KDDI研究所
MHIエアロスペースシステムズ(株)
(株) NEC情報システムズ
NECソリューションイノベータ(株) プラットフォーム第二事業本部
NECソリューションイノベータ(株) 技術統括部
NECソリューションイノベータ(株) 東海支社
NECソリューションイノベータ(株) 東北支社
NECフィールディング(株)
NTTアドバンステクノロジ(株)
NTTコムウェア(株)
NTTソフトウェア(株)
(株) NTTデータ
(株) NTTデータ・アイ
(株) NTTデータ関西
(株) NTTデータ九州
(株) NTTデータ東海
(株) NTTデータ東北
(株) NTTドコモ
(株) OKIソフトウェア
(株) PFU
SCSK (株)
TDCソフトウェアエンジニアリング (株)
TIS (株)
(株) UBIC

【あ行】

アートシステム(株)
アイアンドエルソフトウェア(株)
(株)アイヴィス
(株)アイ・エス・ビー
アイシン・コムクルーズ(株)
アイシン精機(株)
(株)アイズファクトリー
アシアル(株)
アドコム・メディア(株)
(株)アドバンス トラフィック システムズ
(株)アドバンスト・メディア
(株)アルファシステムズ
(株)いい生活
(株)イーブックイニシアティブジャパン
池上通信機(株)
伊藤忠テクノソリューションズ(株)
(株)インテック
インテル(株)
インフォサイエンス(株)
(株)ヴァル研究所
ヴィスコ・テクノロジーズ(株)
(株)うえじま企画
(株)エィ・ダブリュ・ソフトウェア
(株)エクサ
エクセルソフト(株)
(株)エスケーエレクトロニクス
エヌ・ディー・アール(株)
(株)エルザジャパン
オークマ(株)
(株)大塚商会
(株)オーム社
沖電気工業(株)
(株)小野仁
オムロン(株)

【か行】

国立研究開発法人 科学技術振興機構
(公財)画像情報教育振興協会
(学)片柳学園日本工学院八王子専門学校
関西テレビソフトウェア(株)
関電システムソリューションズ(株)
(一財)機械振興協会
キヤノン(株)
キヤノン(株) 総合R&D研究開発推進部
キヤノンITソリューションズ(株)
キヤノンITソリューションズ(株) R&Dセンター
(公財)九州先端科学技術研究所
共立出版(株)
(株)近代科学社
グーグル(株)
グリー (株)
(株)コア 中四国カンパニー
(株)構造計画研究所
国士舘大学図書館・情報メディアセンター
国立国会図書館
コニカミノルタ(株)

【さ行】

(株)サイバーエージェント
サクサ(株)
サクシード(株)
三協印刷(株)
三美印刷(株)
(株)シーエーシー
(株)ジーダット
(株)ジェイアールシステム・エンジニアリング
システム・オートメーション(株)
シャープ(株)
(株)ジャステック
(株)ジャパンテクニカルソフトウェア
(一社)情報サービス産業協会
(独)情報処理推進機構
新日鉄住金ソリューションズ(株)
住友電気工業(株)
(株)セガゲームス
(株)セカンドセレクション
セコム(株)
ソニー (株)
ソニーグローバルソリューションズ(株)
(株)ソフトウェアコントロール
(一財)ソフトウェア情報センターソフトウェア特許情報センター
ソフトバンクモバイル(株)

【た行】

(株)中電シーティーアイ
(一社)中部産業連盟
中部電力(株)
通研電気工業(株)
テービーテック(株)
デジタルプロセス(株)
鉄道情報システム(株)
(公財)鉄道総合技術研究所
(公財)電気通信普及財団
(一社)電子情報技術産業協会
(株)電盛社
(株)デンソー
(株)デンソーITソリューションズ
(株)デンソーアイティーラボラトリ
(株)デンソークリエイト
(株)電通国際情報サービス
(一財)電力中央研究所
東海ソフト(株)
東海旅客鉄道(株)
(株)東芝
東芝インフォメーションシステムズ (株)
東芝システムテクノロジー (株)
東芝情報システム(株)
東芝ソリューション(株)
東芝マイクロエレクトロニクス(株)
東芝メディカルシステムズ(株)
(株)東和システム
トーヨー企画(株)
特許庁
(株)トヨタコミュニケーションシステム
トヨタ自動車(株)
(株)豊田中央研究所
(株)トヨタデジタルクルーズ
(株)ドワンゴ

【な行】

(株)ナレッジクリエーションテクノロジー
(株)ニコンシステム
日鉄日立システムエンジニアリング (株)
日本アルゴリズム(株)
日本電気(株)
(株)日本電気特許技術情報センター
日本アイ・ビー・エム(株)
(公社)日本化学会
日本銀行
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
日本証券テクノロジー (株)
(一財)日本情報経済社会推進協会
(一社)日本情報システム・ユーザー協会
日本信号(株)
日本電子計算(株)
日本電信電話(株)
(一財)日本品質保証機構
日本放送協会 放送技術研究所
日本マイクロソフト(株)
日本無線(株)
日本ユニシス(株)
(株)野村総合研究所

【は行】

パームス(株)
(株)ハイエレコン
パイオニア(株)
萩原電気(株)
(有)バクサリー
パナソニック(株)
パナソニック(株) エコソリューションズ社
(株)日立公共システム
(株)日立国際電気
(株)日立産業制御ソリューションズ
(株)日立システムズ
(株)日立製作所 情報・通信システム社
(株)日立製作所 中国支社
(株)日立ソリューションズ
(株)日立ソリューションズ・クリエイト
(株)日立ソリューションズ西日本
(株)日立ソリューションズ東日本
(株)日立テクニカルコミュニケーションズ
(株)ファースト
(株)フォーカスシステムズ
(株)フォーラムエイト
(株)フジキカイ 名古屋工場
富士通(株)
(株)富士通アドバンストエンジニアリング
(株)富士通エフサス
(株)富士通九州システムズ
(株)富士通システムズ・イースト

(株)富士通システムズ・ウエスト
(株)富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ
フジテック(株)
富士フイルム(株)
船井電機(株)
フューチャーアーキテクト(株)
ブラザー工業(株)
古野電気(株)
(株)堀場製作所
(株)本田技術研究所基礎技術研究センター

【ま行】

マツダ(株)
三井情報(株)
(株)ミックナイン
(株)ミツトヨ
三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)
三菱スペース・ソフトウエア(株)
三菱電機(株)
三菱電機インフォメーションシステムズ(株)
三菱電機インフォメーションネットワーク(株)
三菱電機コントロールソフトウェア(株)
三菱電機メカトロニクスソフトウエア(株)
(株)三菱東京UFJ銀行
三菱プレシジョン(株)
武蔵野美術大学
(株)メイテツコム

【や行】

ヤフー(株) Yahoo! JAPAN研究所
ヤマハ(株)
横河電機(株)

【ら行】

楽天(株)
リードエグジビションジャパン(株)
(株)リクルートホールディングス
(株)リコー
(株)リナックス総合研究所
(株)リンクレア

注）一般社団法人・一般財団法人・公益社団法人・公益財団法人はそれぞれ（一社）・（一財）・（公社）・（公財）と省略した．

協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により，正会員会費が割引になります．ぜひ，ご活用ください．
本会 Web ページ（http://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html）にも掲載しております．

●協力協定学会名・相互割引率（正会員会費が割引対象）

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10％
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10％
ACM	(Association for Computing Machinery)	20％
CSI	(Computer Society of India)	20％

※協力協定学会の会員費割引については，海外関連団体（http://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/os_relation.html）をご参照いただき，直接お問い合わせください．

●本会への申請方法
会費割引を希望する正会員は，次のフォームから申請してください．8 月以降の申請は次年度会費を割引します．
正会員会費割引申請フォーム（https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html）
初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください．割引適用は 1 学会分といたします．
※これから入会を希望する方も同様に申請できます．入会申込書（正会員）（https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html）をご確認ください．

■照会先：会員サービス部門　E-mail:mem@ipsj.or.jp　Tel(03)3518-8370　Fax(03)3518-8375